



美国・美しい海づくり協議会

【積丹町】

はじまりは？

積丹ブルーで有名な美国の海は、ダイビングスポットとして人気がある一方、深刻な磯焼けの問題を抱えています。しかし、漁業者の減少・高齢化等の影響から地元漁業者だけでは磯焼け対策を行っていくことが難しくなっていて、今後、ますます藻場の減少や藻場機能の低下が進行することが懸念されています。

こうした現状を打開するため、漁業者とダイバーが海面利用についてお互いに歩み寄り、理解を深め、磯焼け対策や藻場造成に関して協働体制で実施する活動を平成21年から始めています。



ウニ除去作業の様子

おもな活動



シュノーケリング体験の様子

磯焼けの対策として海藻被害ウニの除去作業などの藻場保全活動を、地元漁業者とレジャーダイバーの協働により実施し、魚類の産卵場等様々な機能を有する藻場の回復に向けた取り組みを行っています。

また、観光客向けのウニむき体験ツアーの実施、町内外の子供たちを対象としたシュノーケリング体験や水産教室の開催、森・川・海の栄養循環に着目した環境保全活動(植樹活動)など、観光業との連携や後継世代に向けた地域振興に取り組んでいます。

ここが自慢

【海藻の森がある、美しい海づくり】

活動の成果により、これまで磯焼け状態にあった箇所が、ウニ等浅海資源の新たな漁場として活用出来るようになったほか、近年、ほとんど見られなかったホンダワラ(魚類の産卵場所となる海藻の一種)の幼体が確認されるようになり、藻場に集まる多くの魚の様子をたくさんのダイバーが楽しんでいます。



積丹漁港

データ

■代表者: 神 哲治さん / 設立: 2008年 / 会員: 67名

■連絡先: 積丹郡積丹町大字美国町字船濶48番地5

■電話: 0135-44-3382

■FAX: 0135-44-2125

■HP: <https://ja-jp.facebook.com/utsukushiiumipro>